

# マネジメントコース研修生のつぶやき

編集者注：このコンテンツは、マネジメントコース（※）の研修生が持ち回りで担当し、それぞれの所感を述べたものです。

※ 地方自治体職員が、自治大学校の実務や、研修（第1部課程等）の履修によって、実践的に高度の政策形成能力及び行政管理能力の向上を図るもの。

自治大学校での生活も残り1か月ちょっととなりました。着任したばかりのころは「1年かぁ、長いなぁ」と思っていたのですが、振り返ればあっという間で、この生活が終わることに寂しさを感じている今日この頃です。

マネジメントコース研修生の業務、自治大学校の研修内容とその素晴らしさ、立川の利便性、寮の過ごしやすさなどについてはすでに他の研修生が分かりやすく説明してくれていますので、私目線のおつぶやきをお届けしたいと思います。

私が自治大学校への派遣の打診を受けたのは2月上旬のことでした。そもそも自治大学校の存在を知らなかったため、ホームページを隈なく確認し、過去のマネジメントコース研修生のつぶやきも読み漁りました。その中で、私が最も不安に思ったことは「食事」です。私は、「食べることは生きること」と思うくらいに食事を大切に思っており、食べるのが大好きです。そのため、自炊ができない環境（レンジ調理はできます！）で1年生きていくことができるのだろうか思い、着任後約1か月は自宅から通うことにしました。その後、5月上旬から第1部課程第144期の研修を受講するため入寮し、いよいよ自炊なし生活が始まりましたが、失意の私を救ってくれたのは自治大学校内の食堂でした！

食堂は、朝・昼・夕（お弁当）に営業しており、私は主に昼に利用していましたが、温かいご飯がいただけることのありがたさを改めて実感しました。昼食は、バリューセット3種類に加え、麺類、カレーと選択肢が豊富です。しっかり食べたい日は揚げ物、少し控えめにしたい日はお魚料理、というようにその日の体調や気分に合わせて選べるのも魅力的でした。また、メニュー表にはカロリー表示もあり、健康管理の面でも参考になります。ご飯とお味噌汁は自分でよそうことができ、食欲に合わせて量を調整できる点や、おかわりができる点もうれしいポイントです。

そして、食堂のもう一つの大きな魅力は、働いている皆さんのあたたかさです。研修中は、効果測定（筆記試験）の勉強やハードな演習が続き、心身ともに余裕がなくなる時もありました。そんな時、配膳で並んでいる間に食堂の皆さんに励ましていただいて、何度も元気をいただきました。

ここまで食堂の魅力を中心にお伝えしてきましたが、自治大学校には充実した学びや研修生同士の交流はもちろん、日々の生活をあたたかく支えてくれる環境があります。ぜひ、多くの皆さまにこの自治大学校の魅力を実際に感じていただけたらうれしいです。

最後になりますが、日頃よりあたたかく、寛大なお心で接してくださった講師の先生方、研修生の皆さま、自治大学校職員の皆さま、食堂の皆さま、マネジメントコース研修生の皆さまに、心より感謝申し上げます。最後までお読みいただき、ありがとうございました。



本稿を執筆していた週に食堂で食べたものです。写真はありますが私のイチオシは天津飯です！